

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年 3月 31日

事業所名 発達支援スクール クローバー

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1		規定以上の面積の指導訓練室と、静よう室も設置しています。
	2	職員の配置数は適切である	7	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	毎年4月、ホームページにて公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	3		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	豊中市の研修に参加しています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	日々の行動観察等でアセスメントを行い個別のケース会議で支援計画に繋げています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	標準化されたアセスメントツールはないが、日々の行動観察や記録を基に把握しています。	

適切な支援の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	複数人で活動し立案しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	複数の分野の活動を組み立て把握しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0	複数の分野の活動を組み立て把握しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	学年の違いなども考えて集団活動や社会性などの、目標をもって計画を作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	翌日の朝に振り返りと情報共有を行い随時、ケース会議を行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	毎日、朝礼でその日の活動内容を確認し、子どもの情報を共有しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	毎日、終礼で支援の振り返りを行い、記録を残しています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	7	0	毎日、終礼で支援の振り返りを行い、記録を残している。その際、一人ひとりの様子を確認しています。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	行っています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0	予定表など学校のHPなどで確認。お迎え時に子どもの様子を聞くようにしています。送迎の都合で遅れる場合には、事前に連絡しています。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7	0		。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	1		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	5		必要に応じて行います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	3		必要に応じて行います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	0	保護者の要望に応じて個別に対応しています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	連絡帳や毎日の送迎時にお伝えしています。必要に応じ電話等でも連絡を取り合っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	相談があった場合には速やかに対応し、職員間で情報共有をしています。	

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	4		ご要望が多ければ、平日の午前中等に検討いたします。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	3		今後、検討していきます。
	35	個人情報に十分注意している	7	0	全職員が秘密情報の保持について誓約書を書いています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	個別の相談があった場合には速やかに対応させていただいています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	5		今後、検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1		クローバーのホームページに記載しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	2		4月、10月に訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	虐待になる行為について職員間で確認しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	0	身体拘束について職員間では確認しています。保護者には必要に応じて口頭での説明をしています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	必要に応じて指示書の提出をお願いしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1		職員内での共有を徹底します。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。











